# 令和３年度　作物栽培管理情報第９号

令和４年１月発行
大分県中部振興局　集落営農・水田畑地化班

## ２．令和４年産水稲　１．栽培を始める前に行う作業

### １）田植の適期　～熟期等の品種特性・圃場の標高・出穂後の平均気温を参考に～

（参考）品種・標高別の田植適期　※「なつほのか」は令和4年産から追加

| 品種＼標高 | 0～100m | 100～200m | 200～300m | 300～400m | 400～500m | 500～700m |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ひとめぼれ | | | | 5/20～30 | 5/15～25 | 5/5～15 |
| つや姫 | 6/20～30 | 6/15～20 | 6/5～15 | | | |
| ヒノヒカリ | | | | 5/25～6/5 | 5/5～15 | |
| （追）なつほのか | ６月中旬～下旬 | | ５月下旬～６月上旬 | | | |

（参考）地点・標高別の出穂後40日間の平均気温による好適出穂期

| 地点名（標高m）※アメダス観測点 | 出穂後40日間の平均気温による好適出穂期 | | |
|---|---|---|---|
| | 22℃＞ | ＞21℃＞ | ＞20℃ |
| 大分（5m） | 9/7 | 9/12 | 9/18 |
| 犬飼（100m） | 8/29 | 9/4 | 9/9 |
| 湯布院（435m） | 8/17 | 8/23 | 8/29 |

**ポイント**

- 気温の高い時期と登熟期が重ならないよう、田植は適期に行いましょう。
- 田植の順序は、基本的には出穂期及び成熟期（≒収穫期）が早い方から
  **①早生品種（ひとめぼれ、つや姫、なつほのか等）**
  **②中生品種（ヒノヒカリ、あきまさり等）※収穫が10月下旬頃となる水稲**
  ですが、**標高の高い地区では**10月以降の平均気温が20℃を下回ることが多く、中生品種が登熟不良となりやすいので**②中生①早生の順**に行いましょう。
- 近年の気象概況を参考に、栽培する品種や作付面積の割合を選定することも重要です。

### ２）圃場の準備　～順調な生育、効率的な適期作業を行える土台作り～

**（１）地力向上**　※根の張りと、化成肥料の効果を支える土壌改良材・有機物施用！

（参考）土壌改良材及び有機物施用量

| 区分 | 資材名 | 施用量/10a | 成分 |
|---|---|---|---|
| 土壌改良材 | ケイカル | 200kg | ケイ酸、苦土 |
| | ミネラルG | | ケイ酸、苦土、鉄分 |
| | 土改王 | 45～90kg | ケイ酸、苦土、リン酸、カリ |
| | とれ太郎 | 60kg | ケイ酸、苦土、リン酸 |
| 有機物 | スーパー堆肥 | 500kg | 牛糞等 |
| | みのりS | | |

**（２）耕起及び耕耘**　※圃場が乾いている日を逃さず作業しましょう！

①耕起は田面の土及び前作の刈り株等と作土層が均一に混じるよう行う。また土壌改良材、有機物施用も同時に行う。
②耕耘するときの深さは15cm程度を目安として、毎年踏み固めた田面を崩す。
③PTOは1～2速で、ロータリーを緩やかに回転させ土塊を大きくする。
④トラクターの走行方向に注意し、圃場に凹凸を作らないようにする。

**（３）排水性の向上**（主に水の溜まりやすい圃場）　※毎年ぬかる圃場は事前に対策
畦畔沿いに溝を掘る等により、圃場を乾燥させ作業しやすい状態に整える。

**ポイント**

- 田植後の地力向上は困難です。栽培開始前にできる限り高めておきましょう。
- 作土が盛り上がった所は除草剤の効果が低下し、雑草が残りやすくなります。適切な耕起及び耕耘により、凹凸の少ない平らな田面を作りましょう。

**資材、農薬等の前作からの繰越し分を確認し、不足分や本年産で新たに必要となる分の購入について最寄りのＪＡ等の販売店で予約しておきましょう。**

お問い合わせ先：電話０９７－５０６－５７９１
ホームページ　：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html